

## 登熟の向上を図る水管理を！

農業の安全使用徹底・農作業事故防止に努めましょう！

### 1 気象経過と生育状況

#### 【気象経過】

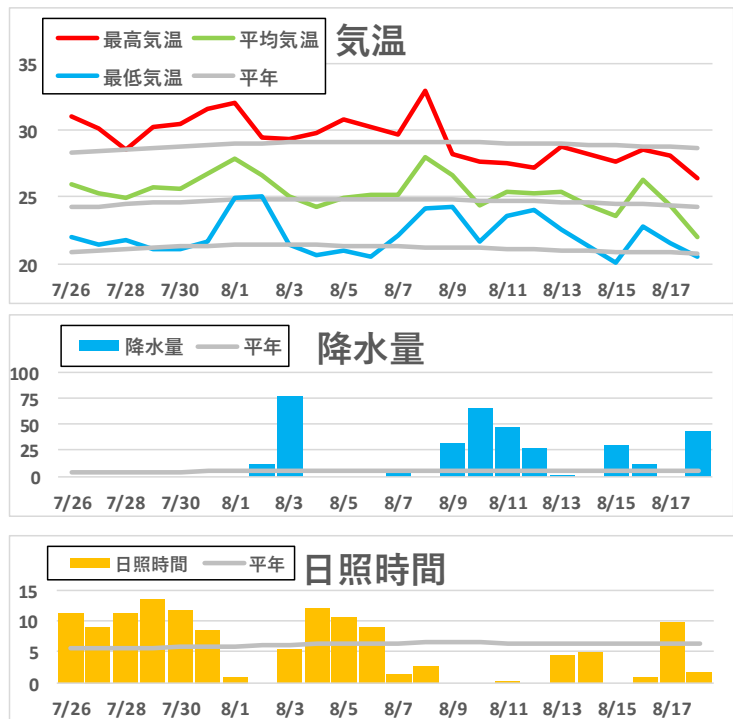
7月26日以降の気温は、平年並みからやや高く推移しています。

降水量は、8月3日から断続的に強い雨が降り、平年よりも多い状況となっています。8月1日から18日までの積算降水量は、平年の8月1ヶ月分の積算降水量の2.3倍となっています。

日照時間は、7月は多かったものの、8月に入ってから少なく、8月1日から18日の日照時間は平年の56%と約半分になりました。

仙台管区气象台による1ヶ月予報では、向こう1ヶ月の気温は高く、降水量は多いか平年並、日照時間は平年並か少ない見込みとなっています。

これまでの気象経過 (アメダスポイント：能代)



#### 【生育状況】

8月19日現在の管内水稲定点調査ほ(9地点、品種：あきたこまち)の生育は、平年に比べて穂数が少ないものの、1穂着粒数が多いため、㎡当たり着粒数は平年並となりました。しかし、ほ場間差が大きく、ほ場内でも出穂にバラつきが見られました。

○定点調査結果 (8月19日)

	穂数 (本/㎡)	葉数 (葉)	着粒数		出穂期 (月/日)
			(粒/穂)	(粒/㎡)	
本年	380	13.2	89.2	33,803	8/2
平年	455	12.8	74.4	33,541	8/2
前年	454	13.2	79.3	36,030	7/29
平年比較	84%	+0.4	120%	101%	±0日
前年比較	84%	0.0	112%	94%	+4日

※平年は過去10カ年の平均値

また、本年は1穂着粒数がかかなり多いことから、確保した籾を確実に登熟させるため、次ページを参考に登熟の向上を図る水管理に努めましょう。

なお、定点調査ほの出穂期は平年並の8月2日、管内の出穂期は平年より1日早い8月1日となりました。

## 2 主要病害虫の防除対策

### 【斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ）】

- 病害虫防除所から7月26日と8月9日に注意報第1号、第2号が発表されました。
- 斑点米は、登熟期後半から発生する割れ粃の増加に伴い、側部加害が主体となるので、今後、2回目の防除が重要となります。そのため、出穂期24日後頃に、畦畔を含めたほ場全体にエクシード剤またはキラップ剤を必ず散布してください。
- 近隣に水稻以外の作物（野菜等）がある場合や養蜂業者がいる場合は、薬剤散布前に情報交換を密にし、散布作業を実施してください。
- 畦畔・雑草地等の除草は、水稻の収穫2週間前以降に行ってください。

## 3 登熟の向上を図る水管理

- 登熟の向上を図るため、出穂30日後までは間断かん水を実施し、土壤水分を保持しながら稲体の活力を維持することが重要です。
  - 最高気温が30℃以上になる日は、用水を確保できる地域ではかけ流しかん水を行い、地温を下げて根の機能減退を防止します。
  - フェーン現象等で乾燥した風が強く吹く日は、湛水状態を保つことで、蒸散による稲体の消耗を軽減します。
  - 早期に落水すると、根の機能が低下し登熟が妨げられ、収量、品質、食味が低下する場合があります。落水時期は、出穂30日後頃を目安としますが、登熟の進行やほ場の作業性等を考慮してください。
- ★カドミウム含有米の発生が懸念される地域では、出穂3週間後まで湛水管理を厳守し、カドミウムの吸収を抑制してください。

## 4 刈取適期の判断

刈取適期は、品種や栽培方法によって異なります。出穂後日数や積算気温を参考に、粃の熟色をよく観察して総合的に判断しましょう。また、胴割粒を発生させないように、粃の水分にも注意してください。

○積算気温到達日予想

出穂期	950℃	1,050℃
7月29日	9月7日	9月11日
8月1日	9月10日	9月15日
8月4日	9月14日	9月19日
8月7日	9月18日	9月23日
8月10日	9月22日	9月27日

### 【刈取適期の判定基準】

- ①粃の熟色  
葉や穂首が緑色であっても粃の黄化程度が90%（黄色＋黄白色の粃数の割合）の頃  
※熟度の進展は緑（青）色→黄色→黄白色と進む
- ②出穂後の日数  
早生種（あきたこまち等）：出穂後45日頃  
中晩生種（めんこいな・ゆめおぼこ等）：出穂後50日頃
- ③出穂後の積算気温（出穂期翌日から日平均気温を積算した値。上表参考）  
早生種：950～1,050℃（1,100℃を超えると胴割粒増加）  
中晩生種：1,050～1,150℃（1,200℃を超えると胴割粒増加）

※アメダス能代データ。

8月19日以降は平年値を使用。

不明な点がありましたら、山本地域振興局農林部農業振興普及課（TEL52-1241）までご連絡ください。